

## 中和田教会だより

昭和五十六年一月二十三日

中和田教會公報委員發行

## 教皇様の末日に 寄せて

主任司祭、宮下神父

二月末にローマ教皇ヨハネ・パウロ二世が日本を訪問されます。神様は人の恩をかるかに越えた摂理によつて世界を導かれます。聖マテオは福音書の三章一十二に「やめの中に住んでた民は偉大な光を見た。死の陰の地に住んで居た人々の上に光が輝いた」と云うイサヤを通して言つた予言が実現したと云はれました。

ヨハネから洗礼をうけたエヌスは教とのべ初めて「悔い改めなさい。天の国は来ている」と仰せになりました。此は心を神様の方に向けること、そしてエヌス様によつてあたえられる神の生命に生き神の子として生きる道を歩みなさいと云う意味です。カリラヤの海辺を歩いて居られたイエズス様は漁師のペトロとアンドレアを呼んで私について来な

エウジエニオ 清尾 拓哉  
市塚区和泉町一八三一四七  
丁モレヘの四一六ハ一六  
皆さんよろしくおねがいします

婦人会だより

婦人会の新年度が始まりました  
この一年神様の愛に包まれて、共に  
歩む私達でありますと想います。  
そして一人一人が積極的に参加して  
分かち合いと奉仕の中に実り豊  
かな一年としたいものです。

新年度オ一回の例会(一日例会)  
は一日十八日に新年会を兼ねて  
れ時のハミサの後行かれました。  
尚例会に先立ち委員会の東原  
委員長より次のようなお話があり  
ました。今後の当教会のあり方  
として委員会と各活動部一つか互  
に連けいを密にして、より暖かい信  
頼されるものとしてゆきたいと思いま  
す。委員会がその機能を十分に発  
揮できるよう、理解と協力をあ  
頼いします。破かいすることは簡単  
だが創り出すことは非常に困難  
です。たとえ小さくても積み上げ  
創り上げ、守つてゆくよに致しキ

一神文獻會例

二、阿部会長の挨拶  
念願だった規約も出来、ひとつ  
の進歩があつたことはもうござい  
ことです。互いに協力して、やな  
こがあつてお柳えがせんしてや  
つてゆけばよい結果を生むことに  
なるでしょ。

三、昭和五十五年度事業報告  
四、昭和五十五年度会計報告  
五、新役員・新地区代表の紹介  
六、お知らせ

① 每月の定期会はオ三日曜日  
九時ミサ後行います

② 清掃の件  
下山様より拭たん用の掃除  
用具の寄贈がありました。

③ 新しい連絡網の配布

統いて新年会に限りました。三  
二名の出席を得て、まず位田新会  
長の「神父様の健康を祈り婦人  
会がこの一年、安らかなかへに活  
動できましたよ」との挨拶と音頭  
でフインで乾杯。自己紹介の後、会食  
しながら樂しい遊びのひとときを過  
しました。やかな中に閉会となりました。

さい。私はあなたがたを人を漁る者と  
いようと仰せられると彼らはすぐに  
網をして從いました。又セベテオ  
の子ヤコブと兄弟ヨハネも舟と父を  
おりて從つてお弟子になりました。  
イエス様は<sup>サ</sup>言葉と御自身の  
御生活によつて、お弟子達を導き  
ご苦難ご死去ご復活をみせて御自  
分が神と一つになつて居ることを教  
へ尚聖靈をつかわして神と一つに  
なつて生きる道を悟らさりました。  
四福音書にイエス様の地上に於  
ける生きたすがたと、み教があります  
が、そのうちでもマタイ五十七章ヨハネ  
十三十七章には特に恵豊かなも  
のがあります。お弟子の召出しい  
きさつは聖書には非常に簡単には  
書ひてありますか最初に呼ばれた  
ガリラヤの漁師のペトロが教会の頭  
で地上でイエス、キリストの代理者と  
なつた初代ローマ教皇です。  
イエス様はペトロに向つて完義  
たちを力づけ心を固めてやりなさ  
い(ルカ二十二の三十二)又信者のお

世話を一なきい（ヨハネ三一章十七）  
と云ひ、「私は世の終りまで常に  
あなた方と共にいる」マテオ（三十八章）  
一七と約束された。

委員會報告

一、信徒総会議題について  
一般会計収支決算並みに今年度予算について審議  
二、信者名簿作成の件、四月目標に整理し作成  
三、市民クリスマスのつどい、収支報告  
卢原、原宿中和田教会共催による活動全額は十六万七千円でした。  
四、教会建設資金内訳報告  
詳細は信徒総会時に報告  
五、年会小会場を広報活動委員としてお手伝いいたたくことになりました。

轉入者紹介

マリア・フランシスカ 清尾史子

(紹介) 次の三人が入会されました。よろしくお願いいたします。

・マリア 鈴木ナミ雅 上飯田町三三一上飯田園地元一五八  
TEL(八〇三)九八九四

・ベルナデッタ山田康子様 上飯田町三三一上飯田園地三一三  
TEL(八〇二)六四四四

（岩崎）

お知らせ。

一、堅信の日、六月十四日(オ三日既り)に行われます。当教会で洗礼を受けられてない方は、主任司祭まで申してください。

二、大字チカシ展の延期。開催期間、一月二十日(火)から二月十五日迄延期になりました。

三、教皇ヨハネ・パウロ二世の野外ミサについて

会時、二月二十六日(火)午後三時、会場 後樂園スタジアム  
どなたでも参加出来ます(但し参列者名を証し込みか教會におりますのでご記入下さい。  
(但し一日三十日締切です)

自分の体で  
キリストを証する

主任司祭 宮下神父

二月中の日曜日に読まれた福音書はマテオの五章から取つたものですがイエズス様の遺された信者の生きる道が述べられております。信者は言葉使い態度生活全体をもつて即ち体でキリストを現すよう導かれて居ります。此れは最も力ある宣教布教をして居ることになります。皆さん一寸思い出して下さい。洗礼を受けたものは神の子としての生命をいただいて居り聖ペトロが教えて居るように体は聖靈がお住いになつて居る神殿であります。

敵を許し愛しなさい。社会的に弱い人の味方にならうやりなさい。感情的にむやみに怒らないこと。仕返しをしないこと。思いやりのある態度を取ること等々。天の神様は良い人にも悪い人にも目を照ら

反省委員長 東原秀夫

し雨を降らせて下さい。天の神様が完全であるように、あなた方も完全であります。とイエス様はおへしゃれました。これは自然の人間性からみると、むづかしいことですが、神の子としての自覚をもつて練習してみますと出来ないことをではありません。実行することが出来るよう神様から力をいただきたから努力いたします。う。

六月に三十数名の方が堅信の秘密を受けられます。聖靈とともにすすめられたものが受堅者と教会全体に豊かに与えられます。ようやく尚ほ未日されるローマ教皇様のためこれからお祈りいたします。以上。

とより依存心や独善から皆彌に御迷惑をおかけってきたこと今更の如く反対者へ恥がしく思つております。せめーく喧騒な生活の中で只管、教会に心の安らぎ又を求めて寄りかかり無意識のうちに逃避をしてしきう自己本位な信仰心。過日、信徒総会の席上信仰について学ぶことの御指摘を頂きましたが、「信仰」と我々信者の基本である筈です。しかも眞の「信仰」は求め努力することなしには得られないもので、眞の信仰なくしては眞の「教会」は求められず、まして眞の「愛」や「信頼」や「慰め」等は到底得られる筈がありません。教会が本当に安らぎの場であるためには自身に眞の信仰を求める激しさと努力が必要であります。一つ、容易な自己満足・独善的信仰心がどの程他の人々も傷つけてしまうことか。

中和田教会だより

昭和五十六年二月二十日  
戸塚区中田町二七〇一  
中和田教会広報委員会行

# 一般會計收支決算及預算報告書

(55.1.1 ~ 55.12.31) (56.1.1 ~ 56.12.31.)

摘要	予算	実績	摘要	予算
(収入)			(収入)	
月定獻金	1,850,000	2,111,700	月定獻金	2,150,000
三サ獻金	750,000	760,702	三サ獻金	800,000
特別獻金		142,200		
バザー収益	400,000	571,278	バザー収益	400,000
補助金	600,000	600,000	補助金	600,000
鞋 収		28,880		
計	(3,600,000)	(4,214,760)	計	(3,950,000)
前期繰越金	724,587	724,587	前期繰越金	814,748
合計	4,324,587	4,939,347	合計	4,764,748
(支出)			(支出)	
賃儀行事費	310,000	324,657	賃儀費	170,000
維持費	292,000	311,197	布教教化費	395,000
人件費	2,185,000	2,185,000	大災保険料	48,000
福利厚生費	110,000	119,972	人件費	2,403,000
通信費	100,000	87,466	福利厚生費	132,000
宣教費	218,000	244,986	消耗備品費	130,000
修繕費	400,000	344,900	通信費	85,000
消耗品費		15,898	水道光熱費	327,000
備品費		74,180	租税公課	30,000
工事費		139,265	自動車諸費	260,000
大災保険料	48,000	48,000	会議費	25,000
鞋費		10,978	消耗品費	10,000
退職積立金	85,000	83,600	鞋費	10,000
修繕積立金	100,000	100,000	退職積立金	93,000
本部獻金	312,000	344,000	修繕積立金	100,000
平備費	164,587	0	平備費	192,748
計	4,324,587	4,124,599	計	4,764,748
次期繰越金	0	814,748	次期繰越金	0



# 中和田教会だより

昭和五十六年三月二十五日  
戸塚区中田町二七〇一  
中和田教会広報委員発行

## 「アバ父よ」の生活

主任司祭 宮下神父  
幼稚は目が覚めた時も、むづかる時  
も眠る時も母の顔をみて安らぎのう  
ちに過します。私達も朝から晩まで  
晚から朝まで常に神様を想いお祈り  
するようつとめます。すべての人は  
神の愛の支配のうちに生活して居  
ます。時に私たちは教会の跡跡を通  
して神様の子供としていたときました。  
これは生まれながらの自然の生命の上  
に神の命が注がれて神の養子となっ  
たものと聖ペテロは教へて居ります。  
神の靈が私のうちに住みやれ天の父  
なる神様に向つて「アバ父よ」と呼ぶがけ  
る尊い状態に高められて居るもので  
あります。(アバ父よとは親しみをも  
つてお父さんと呼びかける気持ちを表  
したものです)私たちが祈りとする  
時神様に話しかける時私達のうちに  
住むおれの聖靈は私達の祈りを御自  
から祈りと共に御父の前にささげ

て下さいます。幼子がその時くのま  
と母親に抱きせるように私達も可  
て神様に報告して何事につけてもお願  
いたり感謝したりするよつとめま  
しょう。このせの生活は樂しいことばかり  
ではありません。神様は此の人は見込み  
があると見る時には苦い災難をあ  
たへて下さいます。私達には良くゆか  
りませんが御旨により本人の利益をた  
めと考えられます。いつか苦しき後に  
死ぬ時が来ますがお恵みによつてあ  
たへられた生命は天国までづきます。  
神様とお話しながら永遠の希望のう  
ちに生命的な生活を樂しむよつと  
めます。

## 委員会報告

(三月六日金曜日用意)

一. バザーについて  
開催予定日五月二十四日(日)  
規模については例年通り行つ。尚  
具体的は四月委員会にて検討

二. 聖体間について  
聖木狂日、四月十六日主の晩餐  
聖金狂日、四月十七日主の受難

## 壮年会報告

(三月二十二日(日)三月例会開催)

一. 教会前庭の整備について昨年に  
フローリング活動を行つ予定計  
画がすとおり次第、皆様の御協力  
をおねがいします。

二. 烧肉パーティについて  
親類により親睦の場として焼肉  
パーティを今年も開催を計画し  
ます。

四. 横浜教会鶴飼神父彌三月十五日  
平塚教会細井神父彌四月五日  
お祝金一封を贈呈。

五. 叙階式のお知らせ  
・新入会員を紹介します。よろしくお  
願い致します。

・マリア法師 弥生様(戸塚教会より)

・上飯田町二六七〇

聖二狂日、四月十八日復活祭  
復活祭のミサは午前九時です  
ミサ後、待寄りパーティ(茶話会)  
実施予定

三. 夏期学校の件  
開催日は七月三十一日から八月三日、三百  
六年の校と検討中、尚費用の  
準備として三月より積立を予定。

藤の五氏出席予定。期日は三月三十日  
から三月三十一日まで。

・婦人会だより  
三月例会は三月二十二日、出席会員  
二十二名の下、行なわれました。当日  
は聖理学校の修業式や文元会等が  
あって土足が足りず屋敷茅一たが一  
やかに進められました。  
復活祭の持ちよりパーティについて、  
今年は茶話会程度で行ないます。  
で玉藻子等の持ちよりをお願い  
します。

(三) 会長よりの報告  
・上野様のお子様の洗礼の御祝い  
を婦人会よりさしあげました。当  
日残しておきました。スマタスのエフ  
ンの壳と金五二〇円と古着の外分  
金一万二〇〇円の合計一萬七二〇円を  
持別会計に繰り入れました。

(四) バザーに関する話  
・今年は新しい試みとして静岡県の方  
修道院フギーと昨年と同じ様に被  
ります。

茶を吸います。但し試験的に一種類  
(元値千円)のケトします。

・食堂は色々の意見があつたが  
おどんカレー、ホットドッグの三房とヨ  
子リ子した。

・奉納及びお茶の当番のこと、  
今年度のオニヤのミサでの奉  
納の当番と例会でのお茶の当番

は奇遇です。よろしくお願ひ致  
ます。

四月(いちばん)四日 五月(ドリーム)保谷  
六月、踊場(いわゆる)七月、岡津  
八月、典禮係担当、九月、中田津  
十月、和泉(いわゆる)十一月、下和泉(いわゆる)  
十二月(いわゆる)田代

最新に吉崎様より三月五日に行なわれ  
ましたカトリック婦人同志会総会の報  
告と歌舞伎観覧会(同志会主催)の報  
告説があり例会を終了、引き続き  
恒例の古着交換会がありました。売上金  
五百円はバザーの準備金として使用され  
ます。尚ほほづばーのため仕事も各地で  
に割り当てられ始めました。ご都合のつく  
限り積極的に協力をえて頂きたいと思  
います。

公教理に祈りとは神を礼拝し、神  
の恩に感謝し、罪のゆるしを願い恵  
みと譲り承めるために神と身に通  
ります。

ミサ聖祭は聖体の祭儀、御言葉の  
祭儀であり、默想の場でもあります。  
宮下神父様が、すくなくとも御言葉の  
10分前に「おやど」に入り聖書と典  
札を見なさいとよく申されます。  
これは默想の題找でもあり、たとえ短  
時間であつても、默想する心がなければ  
「何故」とのお言葉も耳新しく残  
ると思ひます。

生涯を神の光栄のために奉獻し、教  
会の公の祈り(典札)に励み信者として  
の私的な祈りをもつて、キリスト者とし  
ての道を歩みたいたいと思います。

一信者より。

中和田教会  
だより

昭和五十六年四月二十三  
井53  
中和田教會広報委員会  
戸塚区中田町三七〇一

司教書簡を  
お読み下さい

お読み下さい

主任司祭 宮下神父

主任司祭 宮下神父  
先進國とては、めずらしく信者のナラ下さい日本を訪問された口テ教皇のおかげで日本のカトリック教会は何より動きを初めるのではないかといふ期待が一般にあるようですが、これは他人まかせにするのではなく私たち信者の皆様が信者であることを自覚して行動すべきものでありテす。そのためには、いくつかの問題について宗座司教様は信徒死の書簡と出されました。教皇様はヨハネにー21を引用して日本中の人々のエヌス様におめにかかりた」という叫びが注意して耳を傾けるならきこえさはずだと云つて居られます。エヌス様の教えをよりオーディに勉強一聖書を良く読み考へ祈りながら耳に一人でもキリストに出合わせるよう教会一尊き永遠の生命への道を人々と共に歩くはけチー合ひ支へ合ひ助け合つて皆で天国の門をくぐ

● 委員會報告書

一國用十里(金)兩鐘

一  
ハサードリフ

(1) ハサード券發行日  
四月二十九日(日)より發行

(2) 貢高一等コニーセット、二等カセット  
レート、三等銘々皿、四等カセツト  
チナ、五等ティッシュペーパー等。

(3) 出店詳細については五月十日(日)ハ  
サー合同委員会にて打合せ決定する。

二、香部屋設備の改善について  
侍者服等の納入箇所を一部改  
善する。

三、特別献金について  
區名にて高額の献金(三十万円)を  
受ける。尚、この献金運用について  
は教會活動のために用ひられるよう  
オルガンの購入基金の一部に当てる  
ことに決定す。

・婦人会だより

四月例会は十九日か、復活祭にあ  
たるため、十三日に繰りあけて行なわ

中和国教会バザー

日 時 5月24日(日曜日)  
(10:30 ~ 13:30)

## ところ カトリック中和田教会前庭

ハガキ抽選券、寄付金。 1枚 100円。

賞品	1等	コ-ヒー、セ-ト
	2	ホ-ト、7度-ト
	3	錦名皿
	4	カ-ヒー、7-70
	5	三洋電機、80-100

みなくなりにから三日  
目に復活して、私は不思議に思い  
ます。けれど復活できうってい  
ですね。イエス様は十字架にかけ  
られて苦しがつたでしょうね。  
マリア様や子弟さんにはあまり心配  
をかけなかげください。  
イエス様はなぜ信者たちの人々に  
見えないのですか。私はイエス様に  
会いたいです。どこにいるかわからな  
いけど、きっとどこかに、目に見えない  
けれどどこかにキリストいると思います  
これからも、聖書をよくへんきどう  
して、神様の子どもうとできます  
かんぱります。 あります

- ・ 今日はとくにハサード用としての古着は集めないとになりまた現在残っている分は、当日コーナーを設ける予定です。
- ・ ハサード日の仕事の分担表を掲示してありますので、ご希望のコーナーに記名の上、必ず伝いをお願い致します。
- ・ 不要品(新品)及び自主製作品は備え付けの箱の中にお入れ下さい。〆切は五月十日です。尚自主製作品には找料費を参考までにお書き添え下さい。
- ・ 最後に疲氣や体調をくずして、もう少し会員のために全員で主の計りを立て、ゲート開会となりました。

追記

① 四月十四日及び二十一日のハサード奉仕日には多數の方がお出で下さい。大変ご苦労様でした。

② 掃除用の粗布が少くなりましまして、お一人一枚づつご寄付願います。

卷之三

私と復活したイエス様  
五年 茅田和美

ジュリア祭

巡礼因慕集

ジリアを慕つて……美しい心と美しい自然の

回歸 5月17日(日時)

午前10時～12時

公頃，12.00019，幼稚園兒4.70019

暮基締印日。5月10日(日曆12)

(詳細用語表を参照して下さい。) フレーベル・ハーナリヨナ



# 中和田教会

昭和五十六年六月二十四日  
才55  
戸塚区中田町三七〇一  
中和田教会広報委員会発行

見ていて下さる

第三回

神様は私を見て「て下さる」と中の中で三回繰返して下さい。するとその時、必ずな恵みが与えられます。神様は見ていて「て下さる」と何へも誦えて聖書を読むと、その日のイエス様の言葉が割合に良くなります。いつも神様は私をみて下さるという信仰を持って居る人に日常生活では必要な感謝の心がやましくなり困った時には慰めが失意の時には立てる力が人知れず行ふ愛徳には報の約束が得られます。神様は私をおくりになり良しと思給う。そしてたゞ見ていて下さり、いつも導いて下さる。どんな時でも私達は独りではありません。私達が気付かない時、ねむっている時も神様は見ていて下さいます。私達が神様を捨てようとする時でも（も神様は決して私達をお捨てになりません。たゞ愛の眼差しと向けて下さいます。親がこのことを身につけて常に神様を見ていて下さる。心の中に持つ居ると子供は自然にまぬておぼえるになります。神様がみていて下

祀堅信

さういふことを考えて神と共にあるつた  
ひとがまへづ。毎日が東洋な信玄公生活  
の一日であつますよづ。

トマテアユセテカヨヨヨミヨマアテアヤシドアロイジオ  
アレレシリシレタゼゼゼハカハルゲオイコモミ  
レジルエジジアリジシリエストジニ  
ガアテツアアナアナアナフフネルネコチルオボンコ  
スイ

下橋阿山松古今銓小七大花小宮宮小川宮阿萩石石古楠荒山  
山 部本下田里木山浦原坂谷崎川山原崎部原井井川田田木本  
治日洋裕久広久ゆか千恵敦徳佐友康秀 公恒伸秀 良兼秀  
出美美比 恵子子爾喜久正喜誠彦夫雄厚裕明路和仁  
子子子子子子リ

祝洗利

吉谷岩荒中  
田口崎木與  
照了好捷占  
子牛愛子英子

祝初聖体  
六月十四日(月)堅信の日に次の方々が初聖  
体を受けられました。

神の祝福と豊かなお惠みが皆様方に上  
にありますようばかり祈ります。つ  
バザーを終えて

委員長 東原秀夫

今年のバザーも皆様方の御協力によ  
り無事終了致しましたが関係各位  
の御盡力に対して衷心より御礼を申  
し上げる次第です。話が外れますが、これ  
も多くの皆様方の御協力によつて建  
設返済金の「用足献金」へ切り替えて  
より当教会の財政は著しく充実し、今  
回のバザー収益金を加えますと司教

ハサードを終えて

委員長 萩原秀夫

さました。勿論、有り余る資金ではありますんで、これからも適切な用途を考えておいたまうが、それでも長年、豊富であつた皆金(司教館からの補助)だけはせずに済まさるに至らざる様になりました。(過日の委員会で決定)当教会もやつと名実共に自立する教会となり得た訳で、今回のバザーに限らず、今迄の皆様方の御協力に対し重ねて表しより御礼を申し上げます。

努力してきました。私達の中和田教会と云うもの、教会と自分との關係とかうものを一度蘇かに考え見つめ直してみる必要があるのではないかと思つて、いる次第です。

と云ふ事か

お札

婦人食養  
位田裕

●委員会報告  
六月五日(金)開催

● 委員會報告

六用五日(金用德)

六月十四日(一)受堅信者三十名。記  
写真撮影及ぶ野外ハイテイ開催

予度日七月三十日より八月一日三泊四日  
目的地山梨県道志の森キャンプ場

同教団より援助を受けた月額二  
万円の補助金を六月度より打ち切り

資金面から再検討を要する、ことになりました。社会人会の意見聴取中。

婦人会だより

最後に再入院なつた教皇様と交通事故で入院中の荒木様の子孫のために一同て主の祈りをお捧げ致しました。尚去る十四日の堅信式に於て婦人会からも五名の方が戒路を受けられ会からささやかなお祝いをさしみけました。